

大学間の学生交流, コミュニティー, 合同ゼミ等の事例紹介

Case studies of student exchanges between universities, communities, joint seminars

○大山幸輝*, 加藤 諭*, 鈴木友志**, 松田壮顕**, 浅田洋平***

○OYAMA Koki, KATO Satoshi, SUZUKI Yushi, MATSUDA Soken and ASADA Yohei

1. はじめに

大学間の学生交流, 特に複数の研究室同士で行う合同ゼミは, 互いに研究発表・意見交換をすることで, 普段のゼミでは考えつかない視点や課題点を共有することを目的に, 専門分野内外の独自のコミュニティーの中で開催される重要なイベントである。しかし, 昨今のコロナ禍においてこのような学生交流を対面で開催することは難しく, 各大学によってリモートへの切り替えや開催の見送りを余儀なくされたことが予想される。本報では, 大学間の学生交流およびコロナ禍前後での動向を調査するため, まず筆者らの研究室における大学間の交流関係を取りまとめた。加えて, 昨年の農業農村工学サマーセミナー参加者を対象に, コロナ禍前後での大学間の学生交流についてのアンケート調査を実施したので, その結果を報告する。

2. 大学間の学生交流の事例紹介

2.1 東京大学

関東の大学の農業土木系研究室の交流を目的として, 毎年 9 月～11 月の間に合同ゼミを行っている。参加大学は, 筑波大学, 東京農工大学, 宇都宮大学, 茨城大学, 東京大学の 5 大学である。研究発表は主に学生が行い, 卒論, 修論, 博論の研究のさらなる発展に役立っている。しかし, 2020 年度はコロナ禍の影響で中止となった。

2.2 京都大学 (水環境工学研究室)

毎年秋頃に, 岐阜大学, 神戸大学の研究室と合同ゼミを行っている。教員も含め, 参加者は全員発表し, 他研究室の教員や学生との議論を通じて, 各々の研究の発展を目指している。ゼミ終了後には懇親会もあり, 大学間の交流を深める機会となっているが, 2020 年度はコロナウイルスの影響で, 開催は見送られた。

2.3 鳥取大学 (農業造構学研究室および施設環境材料学研究室)

中四国施設系研究室 (材料・施工分野) の現役の学生交流を主たる目的に, 学生企画として合同ゼミおよび忘年会が開催されている。参加大学は主に島根大学, 鳥取大学, 高知大学であり, 各大学から 2～3 名ほどの研究発表が行われる。2020 年度はリモートでの開催となり忘年会は中止となったが, おおむね例年通りのゼミが実施された。

3. 大学間の学生交流のアンケート結果

他大学の研究室との交流の有無は, (Yes : 6 人 (対面), No : 4 人) となった。交流がある大学のうち, 2020 年度の交流の有無は (Yes : 2 人 (リモート), No : 4 人) となり, コロナ禍の影響で多くの大学の交流が中止となっていることが伺えた。

謝辞 : 2020 年度サマーセミナー参加者の皆様にはアンケート調査にあたりご協力頂いた。記して感謝申し上げます。

*鳥取大学大学院連合農学研究科, The United Graduate School of Agricultural Sciences, Tottori University, **京都大学大学院農学研究科, Graduate School of Agriculture, Kyoto University, ***東京大学大学院農学生命科学研究科, Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo

キーワード : 農業農村工学, 大学間交流, 合同ゼミ, コミュニティー